

2014年3月期 決算説明会



2014年5月19日

森永乳業株式会社

1. 2014年3月期決算概要

2. 2015年3月期業績見通し

業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。

なお、この資料における記載金額については、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が合わない場合があります。

1. 2014年3月期決算概要

2014年3月期決算数値



(単位：億円)

	13年3月期	14年3月期	前期差	前期比
売上高	5,912	5,993	81	101.4%
営業利益	102	120	18	117.9%
経常利益	106	124	18	117.5%
当期純利益	50	48	△ 2	96.5%
R O S (経常利益／売上高)	1.8%	2.1%		
R O A (経常利益／総資産)	2.9%	3.4%		
R O E (当期純利益／自己資本)	4.4%	4.1%		

- ・ チルドカップ飲料、業務用食品などの売上増に加え、連結子会社の売上も寄与し増収
- ・ 原材料・原料乳価格の上昇など厳しい経営環境の中、製造経費の合理化を中心としたローコストオペレーション、販売促進費の削減を進め、経常増益
- ・ 当期純利益は、生産体制効率化のための工場統廃合による減損損失、工場再編費用などを特別損失に計上

商品分野別・主要商品の売上実績（単体）



強化育成分野	売上高	前期比
ヨーグルト	526億円	99%
チーズ	424億円	99%
チルドカップ飲料	444億円	102%
機能素材・健康食品	57億円	103%
強化育成分野計	1,450億円	100%
流動食（クリニコ）	(290億円)	(102%)
海外事業（連結）	(257億円)	(136%)

利益額拡大分野	売上高	前期比
業務用食品	416億円	104%
冷菓	510億円	100%
宅配	207億円	98%
チルド紅茶	184億円	91%
利益額拡大分野計	1,317億円	99%

利益率改善分野	売上高	前期比
牛乳	560億円	100%
栄養食品	126億円	94%
デザート	198億円	97%
利益率改善分野計	885億円	98%

商品分野	商品名	前期比
ヨーグルト	ビヒダスブランド	96%
チルドカップ飲料	マウントレーニア	104%
牛乳	森永のおいしい牛乳	97%

（注）「流動食」は連結子会社クリニコの売上高

シェアの状況



カテゴリー	シェア		
	13年3月期	14年3月期	順位
チルドカップタイプコーヒー	53%	52%	1
チルド紅茶飲料	71%	70%	1
ヨーグルト	13%	12%	2
チルドデザート	25%	24%	1
チーズ	14%	13%	3
アイスクリーム	13%	13%	2
流動食	36%	36%	1

(注) 家庭用商品の金額シェア。出典はインテージSRI (2012年4月～2013年3月、2013年4月～2014年3月、販売金額シェア) 流動食のみ当社推定シェア

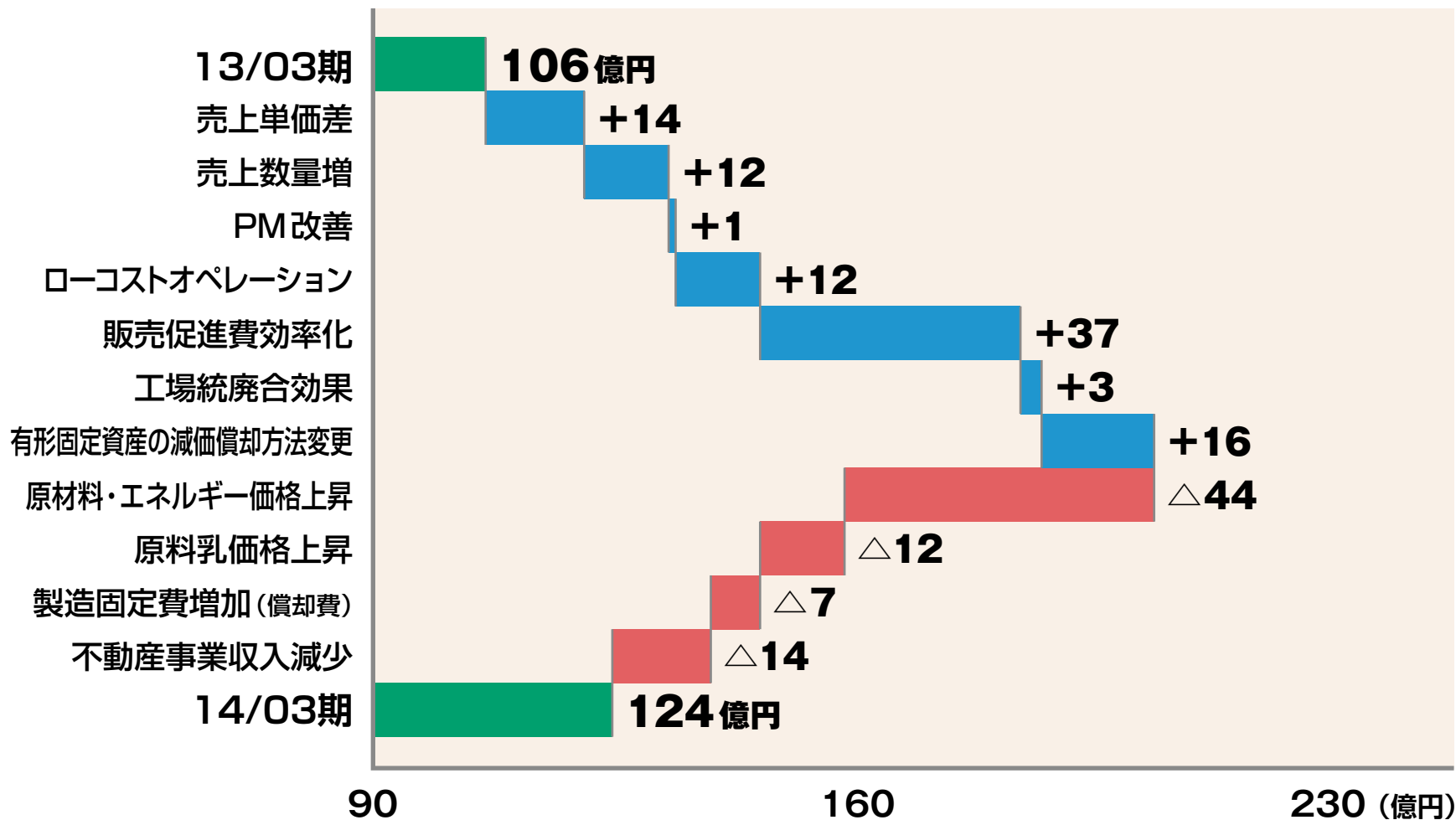
連結子会社の状況



カテゴリー	売上高	前期比	会社数	主な子会社
生産・生販会社	1,128億円	104%	13社	横浜乳業 エムケーチーズ
販売会社	1,309億円	100%	4社	デイリーフーズ 北海道森永乳業販売
その他会社	1,346億円	108%	13社	クリニコ ミライ
合計	3,783億円	104%	30社	

(注) 連結消去前単純合計

連結経常利益の増減要因



2. 2015年3月期業績見通し

原料コストの更なる上昇、消費増税等による消費環境の変化

原材料価格上昇
△50億円

消費増税等
(可処分所得減)

原料乳価格改定
△28億円
飲用向(△10億円)
チーズ等加工向(△18億円)

商品価格
改定実施

原材料の
工夫

販売促進費
の効率化

ローコスト
オペレーション

新商品の
投入による
売上拡大

● 商品価格改定・容量変更実施

牛乳類 : 2013年10月～

家庭用チーズ : 2014年3月～

その他商品群についても、家庭用業務用問わず価格改定の検討と実施

● 原材料の工夫によるコスト減

調達産地・サプライヤーの拡大

包装容器の仕様変更

調達物流コストの削減

● 販売促進費の効率化

投入商品・エリアの絞り込みと集中

キャンペーン実施の効率化

画一的な商品価格体系の見直し

強化育成・利益額拡大分野 売上計画（単体）



	14年3月期	15年3月期	前期差	前期比
ヨーグルト	526億円	537億円	11億円	102%
チーズ	424億円	435億円	11億円	103%
チルドカップ飲料	444億円	460億円	16億円	104%
機能素材・健康食品	57億円	60億円	3億円	106%
強化育成分野計	1,450億円	1,492億円	42億円	103%
流動食（クリニコ）	(290 億円)	(310 億円)	(20 億円)	(107%)
海外事業（連結）	(257 億円)	(262 億円)	(5 億円)	(102%)
業務用食品	416億円	425億円	9億円	102%
冷菓	510億円	525億円	15億円	103%
宅配	207億円	205億円	△ 2億円	99%
チルド紅茶	184億円	186億円	2億円	101%
利益額拡大分野計	1,317億円	1,341億円	24億円	102%



他社との共同開発レシピ
「美カプレーゼ」



シェアNo.1「マウントレーニア」



宅配チャネルの底上げ

（注）「流動食」は連結子会社クリニコの売上高

- カテゴリー No.1 商品の拡大
- ヨーグルト・チーズのシェア挽回と売上拡大
- 他社とのコラボレーション企画の展開



浦幌乳業製造 業務用クリーム

ヨーグルト
リニューアル、新商品展開



新市場ニーズへの対応



ギリシャヨーグルト「パルテノ」
販売エリア拡大
首都圏のみ → 三大都市圏



成長著しいドリンクヨーグルト市場
での商品展開



パーソナルユース型
容器採用飲料販売好調
ドリームキャップ330容器

ウェブサイトでの機能性訴求



ビフィズス菌人研究所

あなたの腸のこと、ビフィズス菌のこと
より理解してもらうことで、お腹の中から健康をサポートします。

NEW! ビフィズス菌 BB536 を含むヨーグルトの
少量での整腸作用

まずは知ってほしい
ビフィズス菌 BB536 の 6 つのポイント

森永乳業 Presents
**ラクトフェリンと
ノロウイルスに
ついて知ろう。**

モラック乳酸菌のひみつ

モラック乳酸菌は、森永乳業が保有する数千種の中から選ばれた乳酸菌。
わたしたちの生活との関係や、名前の由来、はたらき等をご紹介します。

- モラック乳酸菌について
- からだを守るしくみ
- 腸内細菌について

メディアへの情報発信強化



インフルエンザ感染軽減

モラック
乳酸菌 森永乳業、東大と確認

「出典：読売新聞全国朝刊 2014年4月17日掲載」

ラクトフェリンの
赤ちゃんの「天然の涙」とも呼ばれる
母乳に含まれている
免疫成分のひとつです。

「出典：フジサンケイ ビジネスアイ 2013年5月8日掲載」

ビフィズス菌 海外開く

フォーカス 森永乳業① 技術力で原料拡張狙う

「出典：日刊工業新聞 2014年3月28日掲載」

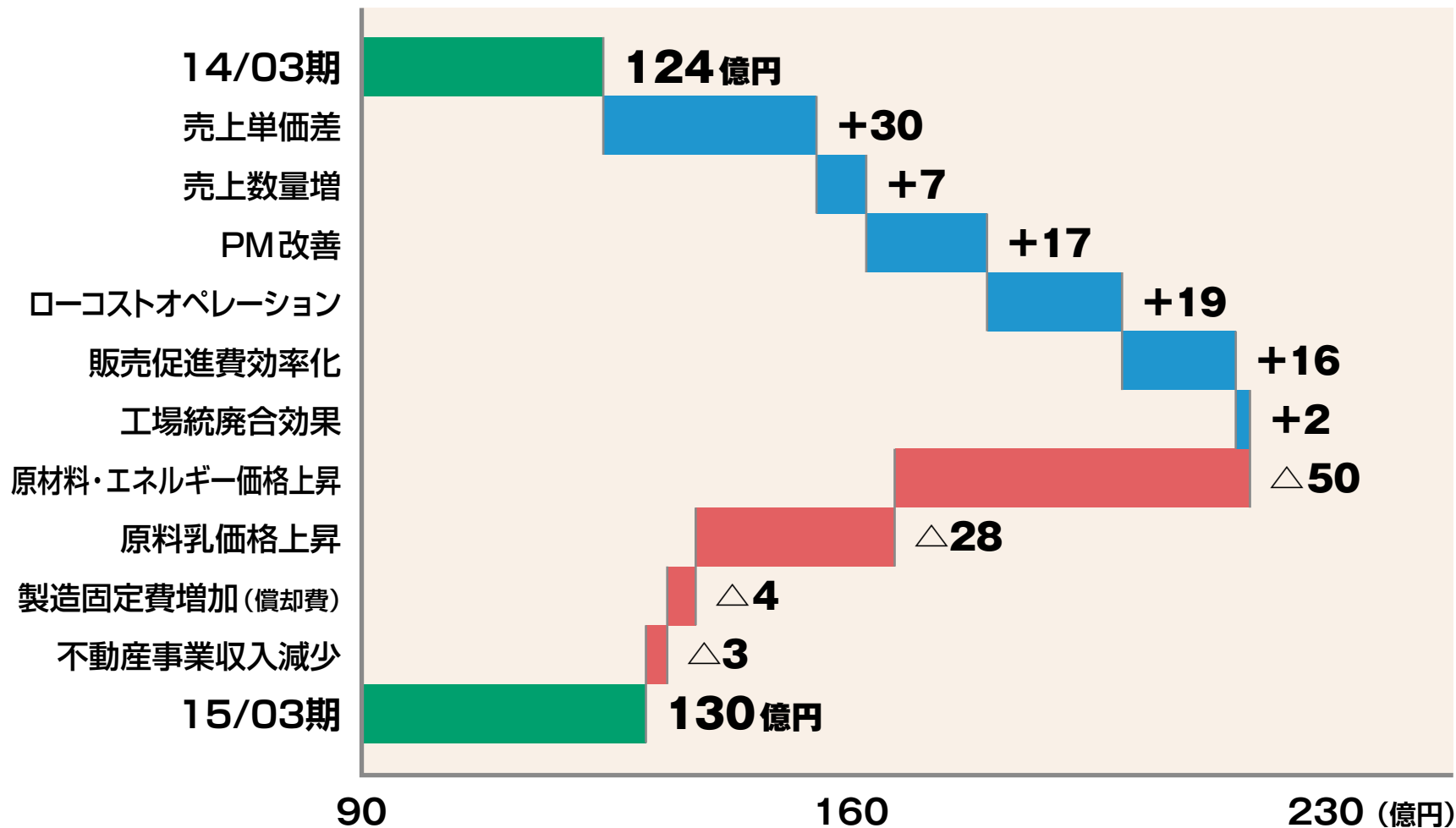
2015年3月期業績見通し



(単位：億円)

	14年3月期	15年3月期	前期差	前期比
売上高	5,993	6,050	57	101.0%
営業利益	120	126	6	105.2%
経常利益	124	130	6	104.9%
当期純利益	48	60	12	124.0%
R O S (経常利益／売上高)	2.1%	2.1%		
R O A (経常利益／総資産)	3.4%	3.4%		
R O E (当期純利益／自己資本)	4.1%	4.8%		

連結経常利益の増減見通し





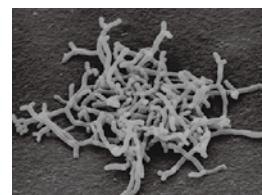
口腔ケア食品
「オーラバリア」



未来の健康なカラダづくりを
応援する低脂肪タイプの
ミルクシリーズ「PREMiL」
キャップ付き新容器で発売



食品で初めて「AskDoctors
医師の確認済み商品」マーク取得



ビフィズス菌 BB536



ラクトフェリン



ミルクペプチド

保有する独自素材、独自技術を活かした商品展開
森永北陸乳業福井工場への設備投資による供給能力増

Active Life 食品の展開



運動する体に必要な
たんぱく質をたっぷり補給
「ペプチドEX」

とろみ調整食品

成長市場への進出・原料調達基盤の強化

- **ミライ社の生産能力増強**

総投資額約200億円

- **ミライ社からの乳原料の安定確保**

欧州の乳原料供給拠点の確立

- **輸出事業好調**

パキスタンなどのアジア諸国向けの粉ミルク、インドネシア向けのラクトフェリンなどの売上拡大

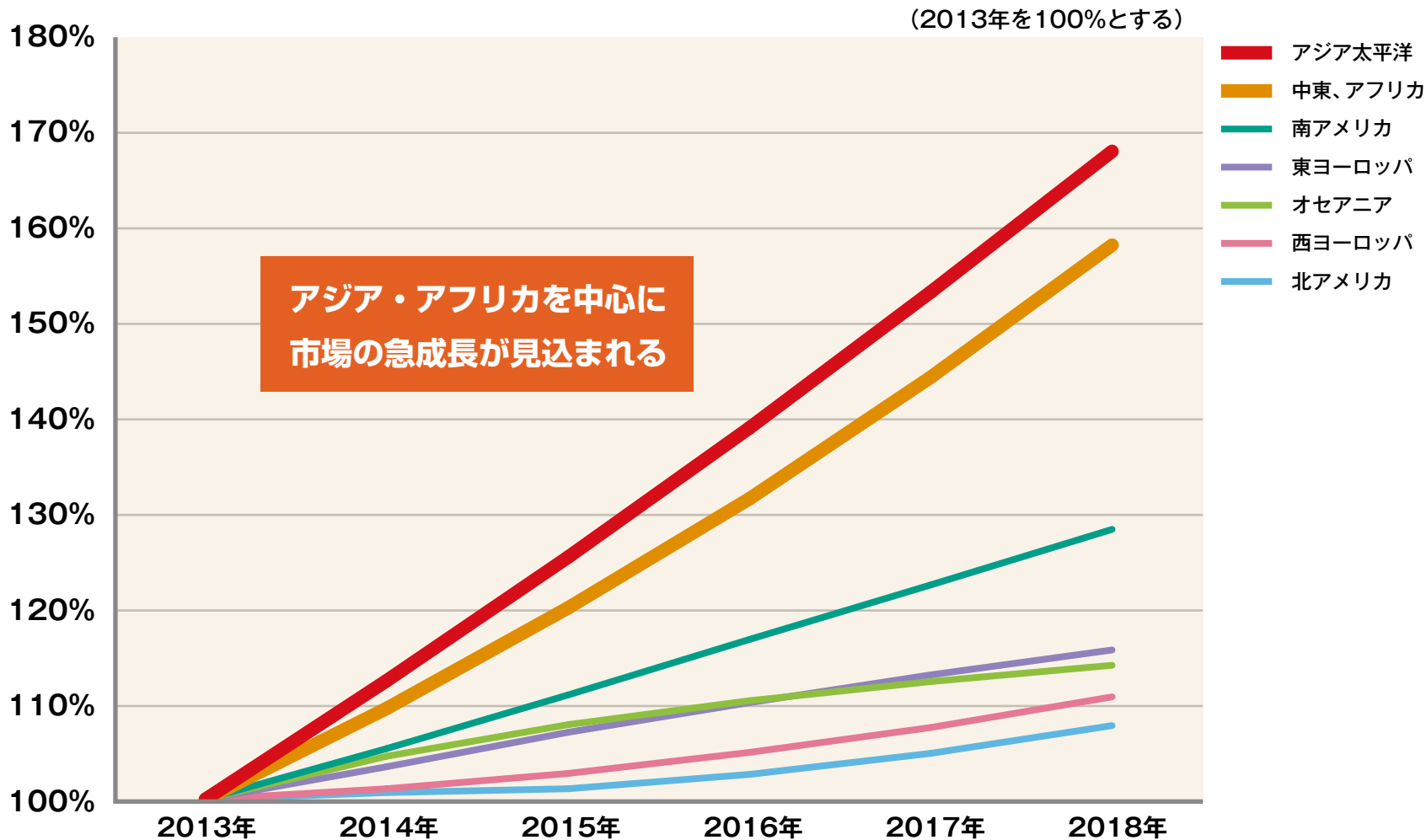
- **インドネシアにおける合併事業(粉ミルク)拡大**

市場拡大が続き、国内販売が好調。増産対応を検討中

- **菌末市場の拡大**

欧州、米国、アジアでの積極的な市場拡大

粉ミルク販売金額 グローバル市場予測

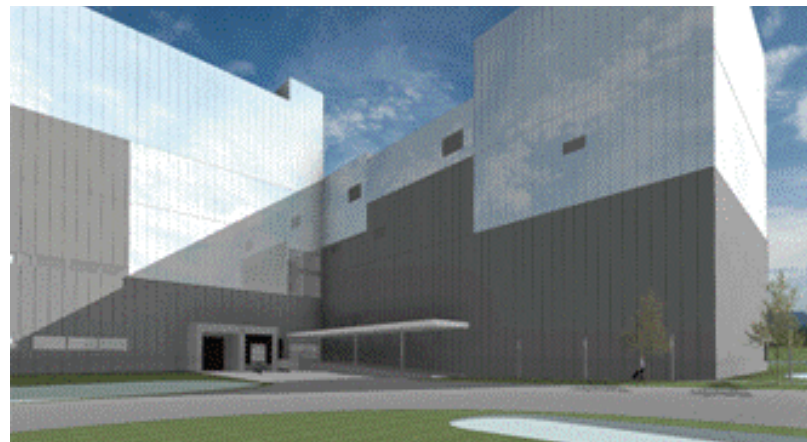


© Euromonitor International 引用改変

2020年度計画

製造量	10万トン	(2013年度比 25%増)
売上高	190百万ユーロ(≒270億円)	(同 50%増)
総投資額	145百万ユーロ(≒200億円)	

ミライ社 完成予想図





森永乳業株式会社